

【第2報】 ●●管内 エリアキャストのムカデ咬傷事象について

【発生日時】 2026年 8月 4日（火） 11：20頃

【発生場所】 東名阪自動車道 下り線 御在所SA

【件 名】 2026年度 東名阪自動車道 ●●管内維持修繕業務

【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋（株）

【概 要】 エリアキャストが休憩後に靴を履き灰皿清掃に向かった。
歩行中足に痛みを感じ、靴を脱いだらムカデがいたもの。

【被害状況】 人的被害：左足親指の咬傷

【時 系 列】

8月4日

- 11：20 事象発生（直後、お湯で患部を温める応急処置を実施）
- 12：15 ●●からメンテ当番に事象の報告あり。
- 12：30 本人は咬傷後、様子を見るも痛みも無いため、当日の勤務終了時刻の12：30で帰宅。
- 12：30 メンテ当番からNEXCO当番班長へ事象報告。
- 13：00 メンテ本社へ事象報告。
- 14：30 ●●から本人に確認を行い、その後も様子は変わらず痛み等も無いとのこと。

【報道等】 なし

【位置図】



【ムカデが進入したと思われる箇所】



【噛まれた箇所】



【現場の対策状況】

ムカデの忌避剤の散布は、入口付近に実施していた。
また、ムカデに噛まれた対処方法のポスターを掲示し周知を行っていた。
(そのため今回、お湯で応急処置を行うことができた)



有毒生物(ハチ刺され・ムカデ咬まれ)の対処方法



ハチ【対処方法】

- ① 刺された場所から離れる
→ 身を低くして複数匹に襲われるリスクを減らす
- ② 毒針が残っていれば抜く
→ 毛抜きや爪ではらうように刺針を取り除く
- ③ **ボイズンリムーバー**を使用する → 傷口から毒を絞り出す
※ 安全かつ衛生的に本人が使用すること(刺されてから5分以内推奨)
※ ボイズンリムーバーが無ければ、刺された部位をつまんで毒を出す
- ④ 刺された部位を流水で洗う → 毒を洗い流す
- ⑤ 患部を**冷やす** → 毒液のめぐりを遅らせ、腫れや痛みを抑える
- ⑥ 症状を確認する → 局所症状が全身症状かを判断する
→ 症状が軽い場合は市販の専用外用薬を塗る
※ 症状が重い場合は、急いで医療機関を受診する!

【症状】

- ・刺された直後から激しい痛みが生じる(かゆみを伴うこともある)
- ・患部が赤く腫れる

大抵は1日～数日以内に症状が落ち着く

「アナフィラキシーショック」が起きることがあるため注意が必要

アナフィラキシーショックとは?

体全体に強いアレルギー反応が起こり、命に関わる状態になること

こんな症状が出たら、すぐに119番!

- ・呼吸が苦しい
- ・めまい、意識がもうろうとする
- ・顔やのどが腫れる
- ・全身にじんましんが出る など

ムカデ【対処方法】

- ① 患部を流水で洗う → 流水で洗い流すことで毒の拡散を防ぐ
- ② 患部を**温める** → 患部を温めることで、痛みや腫れを軽減する
※ ムカデの毒は熱に弱いので、43℃以上の熱いお湯で温める
※ できれば20分以上温める

注) ボイズンリムーバーは使用しない
毒は吸い出さない

- ③ 市販の専用外用薬を塗る
※ 症状がひどい、もしくは症状が改善しない場合は医療機関を受診する!

【症状】

- ・咬まれた瞬間に激痛が走る
- ・患部の皮膚が赤く腫れる
- ・かゆみやしびれ、赤みが生じることもある

痛みは数時間ほどで軽快するが、翌日以降に症状が現れることもある

「アナフィラキシーショック」が起きることがあり、注意が必要

早めの対処が大切です!

落ち着いて、正しい処置を行い、必要に応じて医療機関を受診しましょう。

← 有毒生物
対処方法
ポスター

【今後の対策】

侵入経路への忌避剤散布・保護具や靴を履く前の確認を実施する。

また、ムカデ咬傷や蜂刺され後の対処法（応急処置）について再周知を行い、被害後に間違った対応を行わないようにする。